

知ったかぶり 異人館

2025年2月14日 天王寺多恵子さんによる「北野 ― 住宅地から観光地になった街」のあとで、記憶が曖昧のまま異人館の始まりを話しました。

以下、藤森照信「日本の近代建築上」岩波新書(赤308)初版1993年と「異人館のある町並み 北野・山本」で確かめた結果です。

【1】 「異人館」と言えば、ヨーロッパあるいはアメリカ風と思っているが・・・

「様式」としての「異人館」はない。

西から・・・ベランダ付き2階建て(インド・中国などで使用していた様式)

東から・・・下見板張りベンキ塗りの外壁(植民地時代のアメリカの「コロニアル様式」)

東西2方向から日本に渡ってきた様式が合体されて独特の「異人館」が建てられた。北野では、ベランダにガラス窓が後付けされた。

【2】 保存運動は神戸市長に届いた1通の手紙から

1960(昭和35)年に関野克氏ほか東京の建築学者から当時の原口神戸市長宛あてに、女子短期大学の女子寮として使われていた旧ハッサム住宅の保存についての要望書が送られてきたことから始まった。

神戸の住民にとっては200~300棟のいわゆる「異人館」が存在しており、それほど貴重な存在であるという認識は少なかったが、要望書をきっかけに行政だけでなく、住民も参加した保存運動に広がっていった。

保存の経緯は下記「異人館のある町並み」26ページ以降に掲載されている。

異人館のある町並み 北野・山本

神戸市北野町山本通重要伝統的建造物群保存地区・20周年記念

編集 神戸市教育委員会事務局社会教育部文化財課 2000(平成12)年発行

【参考】 移築保存されている異人館

旧ハッサム邸	相楽園	1961年
旧ハンター邸	王子動物園	1966年
旧ブルム邸	愛知県 明治村	1969年
旧ダウン邸	香川県 四国村	1976年
旧ハイガー邸	港島北公園	1981年 (みなと異人館)